

JLEM News Letter Vol.53



第59回日本語教育方法研究会開催

発表 60 件（他、発表辞退 1 件） 参加者 270 名（推測値）

第 60 回は東京工業大学にて

2022年9月10日(土)、第59回日本語教育方法研究会がオンラインで開催されました。また、前日の9月9日(金)には、運営委員会が開かれました。議事については、このレターの記事をご覧ください。

次の第60回研究会は2023年3月18日(土)、19日(日)に東京工業大学(東京都目黒区)において対面にて開催します。JLEM30周年の記念企画も準備中です。皆様、奮ってご参加ください。

開催を終えて

内藤 真理子
(事務局)

新体制となってから、初めての研究会であったため、無事に終わって安堵しております。ご協力くださった発表者や参加者の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

オンラインで開催する場合、研究会の参加者の募集に当たっては、使用しているZoomに制限人数があるため、まずは会員の皆様に参加登録していただき、制限人数に達していない場合は、非会員の方からのお申し込みも受け付けております。特に

外部の機関を通じての広報はせずに、JLEMのホームページのみで告知しておりますが、それでも、今回は1週間で満員となりました。会員の皆様だけでなく、多くの非会員の方からも興味も持っていただけているようです。

JLEMには、学生の方、日本語教師になりたての方、そして数十年の教育歴を持つ方など、いろいろな背景を持つ方が参加されており、そして、皆さまが気負いなくディスカッションすることができるのがJLEMの良さだと思っております。オンライン開催では、このJLEMの良さが出にくいのではと危惧しておりましたが、事後アンケートには、「今後の授業の参考になるコメントを得た」「授業、学生への対応の改善のヒントを得た」「先生方が真摯に授業に取り組んでいることがわかり、励みになった」などの肯定的なコメントを多くいただきました。

さて、アンケートでは、今後の開催方法についてもお伺いをいたしました。JLEMは、コロナ感染症拡大以前は、春と秋に対面での研究会を実施してきました。しかし、アンケートでは年二回の対面開催を今後も希

望する方はわずか10%で、一方、対面と遠隔の交互での開催は約40%の方が選んでいました。新型コロナウイルス感染症の収束の見込みが立たない現在、先のことまで決めるのは難しいですが、状況が許す限り、しばらくは対面と遠隔での開催を交互に行おうと考えております。なお、自由記述でハイブリッドでの開催を希望された方が数名いましたが、そのためにはポスター発表件数分の機材とサポートスタッフ、さらに、安定したWi-Fi環境が必要となり、残念ながら我々運営委員ではそのご希望に応えることができないこと、ご理解ください。

次回開催にあたって

佐藤 礼子
(東京工業大学)

次の30周年記念大会(第60回研究会)は、2023年3月18日(土)・19日(日)の2日間にわたって東京工業大学の大岡山キャンパスで開催されます。18日はJLEMの30周年記念企画が、19日は通常の研究発表が行われる予定です。東京工業大学では、1994年に第2回研究会、2005年に第24回研究会が開催されており、今回が3回目の開催となります。記念すべき30周年の研究会を本学で開催できることを大変光栄に思います。

本学には留学生が年間1,800名以上在籍しており、全学生に占める割合は約17%にもなります。日本語教

育は、リベラルアーツ研究教育院の日本語・日本文化科目として学部生から博士課程の大学院生まで多くの留学生に受講されています。学生たちのニーズを満たし、充実した留学生生活を支援するために、アイデアを出し合い日本語学習カリキュラムの改善に取り組んでいます。今回の研究会で、ご参加のみなさまと情報を共有し、交流できることを楽しみにしております。

大岡山キャンパスは、東急大井町線／目黒線の大岡山駅を出てすぐの便利な場所にあります。学食は営業しておりませんが、大岡山駅の周りには商店街もあり昼食や買い物もできますし、会場には昼食休憩室を設ける予定です。3年ぶりの顔を合わせての研究会で、皆様のお越しをお待ちしております。

運営委員会報告

研究会当日の9月10日(土)午後には2022年度日本語教育方法研究会総会が開催されました。無事、総会として成立し、全ての議案について承認されたことをご報告いたします。

また、研究会に先だって運営委員会が9月9日(金)に開かれました。今回18名の運営委員が参加し、参加できなかった委員からは委任状が提出されました。以下、総会での報告事項、承認事項について報告致します。

①会員数：

2022年9月8日現在、644名。

②2021年度の決算について：

会計担当委員から決算案の説明が行われ、承認。

③2022年度の予算について：

予算案の説明が会計担当委員より行われ、承認。

④運営委員の交代：

第57回研究会で総会が開催されなかったため、異動について、遡って以下を承認。

異動：松崎寛(情報→会長)，畠山理恵さん・内藤真理子さん(編集→事務局)，河野俊之さん(会長→企画・広報)，中川健司さん(事務局→企画・広報)，根津誠さん(編集→企画・広報)

就任：榎原実香さん(東京工業大学)・鈴木綾乃さん(横浜市立大学)(編集)

なお、会誌奥付の運営委員リストから、河野さん・中川さん・根津さんが漏れておりました。正しくは、本ニュースレター記事やウェブサイトでご確認ください。

⑤今後の開催予定：

第60回研究会(2023年3月)の開催校は東京工業大学。30周年記念企画実施予定。ハイブリッドによる運営はしない。第61回研究会(2023年9月)は、オンライン開催を予定。

(松崎寛)

事務局よりご連絡

●発表申し込み方法

前回と同様、発表申込時に会誌原稿を提出していただくという形をとります。ご協力をお願いいたします。

●発表者の会費支払期限

第60回研究会で発表するためには、発表者(複数の場合は全員)は応募

時点で2022年度の会費(2022年4月からの新年度分)を支払っていただければなりません。期限は2023年1月26日(木)です。その時点で入金を確認できない方については、発表申し込みを受け付けることはできませんので、早めに入金を済ませてください。昨年度の会費が未納の場合、今年度に入って会費を支払っていても、昨年度分に充てられるため、今年度分は未納のままとなります。発表申し込みを行う前に、必ず発表者全員が各自の会員ページで会費支払いが済んでいることを確認するようにしてください。

●発表をお断りする場合

本研究会では、以下の場合発表をお断りする場合がありますので、ご承知おきください。

- ①本研究会、または他の学会・研究会で既に発表された内容のもの
- ②研究倫理上問題があると考えられるもの
- ③特定の個人や集団を攻撃する内容のもの
- ④特定の教材、商品、サービス等を宣伝するもの
- ⑤日本語教育との関連が見出せないもの

●住所変更等

JLEMでは、会員管理システムに登録された会員住所に会誌を送付していますが、返送されてくるケースがあります。住所変更等があった場合は、速やかに会員専用サイトにてご自身で会員情報の変更をお願いします。なお、クロネコヤマトのメール便を利用しているため、日本郵便株式会社が行っている転送サービスには対

応していません。登録の際には、以下の点にご注意ください。

- ・集合住宅にお住まいの場合は建物名まで入力してください。
- ・郵便受けの表札名とご登録の苗字が異なる場合は、住所末尾に「〇〇様方」と追記してください。

(内藤真理子)

J-STAGE について

JLEM では、研究会誌を J-STAGE で公開していますが、刊行後 1 年未満の会誌については書誌情報しか見られないように設定にしています。刊行後 1 年未満の会誌を読みたい場合は、冊子をご覧ください。(※JLEM では J-STAGE の購読者番号・パスワードの配布はしていません) また、発表に応募される方は、以下の 3 点についてご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- ①JLEM での発表応募は、「J-STAGE での公開の承認」を前提とすること
- ②編集担当が最終的な受理とした原稿を後で変更できないこと
- ③研究会当日に発表を行わなかったと判断された場合、その原稿を J-STAGE で公開しないこと

(寺嶋弘道)

会費納入について

会計年度は、4 月から 3 月です。前号のニューズレターでもお願いしましたが、研究会のスムーズな運営のために、6 月 30 日までにお支払いくださいませようお願いいたします。

また、各研究会の際に会費納入が終了していない場合は、研究会までに会誌が送付されず、後日送付されることとなります。また、それにより、運営委員の手間が増えることとなります。それはともかく、研究会の際、会誌が手元にないと不便だと思いますので、余裕をもってお支払いをお願いいたします。発表申込の締切日を目安とお考えください。

●振り込み先

「郵便局の電信払込」で以下にお振り込みください。

記号：10140

番号：69076511

加入者名：日本語教育方法研究会

振込者名：(氏名だけでかまいません)

●所属先名で振り込む場合

所属先の前に必ずご登録の会員名をご記入ください。所属先が前だと会員名がカットされることがあります。

●会員番号で振り込む場合

会員番号の前に必ずご登録の会員名をご記入ください。会員番号が前だと会員名がカットされることがあります。

●ご登録の会員名と異なる名義で振り込む場合

必ず振り込みの度に、ホームページの「お問い合わせ」より、その旨ご連絡ください。

●振り込む方の名義が外国語で表記される場合

ご登録の会員名が確認できないことがよくあります。特に、中国の方は

ピンインで表記されることが多いため、ご登録の会員名 (JLEM のシステムでは漢字とカタカナのみ) を検索して確認するのに時間がかかっています。お手数ですが、振り込んだというご連絡をいただくと助かります。

●振り込みに必要な情報

ゆうちょ銀行の支店名や預金種目が必要な場合、便宜上の店名は、以下のようになっています。

銀行名 ゆうちょ銀行

金融機関コード 9900

店番 018

預金種目 普通

(「普通」「貯蓄」のいずれも可)

店名 〇一八 店 (ゼロイチハチ店)

口座番号 6907651

(松崎 寛・高橋亜紀子)

ご連絡先を お知らせください

会費をお振り込みいただいた方で、以下の方のお名前が会員名簿で確認できておりません。お心当たりの方は事務局までお知らせください。

お名前のご確認ができていない方が多数いらっしゃいます。会員名と異なる振り込み名で振り込む場合には、事務局まで連絡をお願いします。

また、会費を 2 年以上滞納している場合には、退会になります。退会になった方で、会費をお振込みくださった方は、入会の手続きが必要です。

ご協力よろしく申し上げます。

2016/09/23 日付け 3000 円振込み

「フジタ キョウコ」

2016/09/24 日付け 3000 円振込み

「鈴木 聡子」

2017/06/28 日付け 3000 円振込み

「オオタカ ヨウ」

2018/09/07 日付け 2000 円振込み

「馬場 正子」

2018/09/08 日付け 3000 円振込み

「福良 直子」

2019/03/23 日付け 3000 円振込み

「渡邊 美和子」

2019/11/16 日付け 6000 円振込み

「カイインバンゴウ 20」

2019/11/20 日付け 3000 円振込み

「イトウ エミ」

2020/03/29 日付け 9000 円振込み

「カイインバンゴウ 201」

2020/08/17 日付け 6000 円振込み

「デンキツウシンダイ ハ」

2021/01/21 日付け 3000 円振込み

「X I A Y I H U」

2022/01/28 日付け 3000 円振込み

「ガク」キョウリンガクエ」

2022/04/06 日付け 3000 円送金

「CHEN SHI」

2022/01/28 日付け 3000 円送金

「池口 純恵」

2022/04/28 日付け 3000 円振込み

「ホンダ マサミ」

2022/04/28 日付け 3000 円振込み

「ドウシシヤダイガク」

2022/06/30 日付け 3000 円振込み

「ダイ」ヒロシマシリツダ」

2022/07/11 日付け 3000 円送金

「SONG YIH」

2022/07/18 日付け 3000 円振込み

「フジタ モモコ」

2022/07/23 日付け 6000 円振込み

「ヨシウチ エミ」

2022/07/28 日付け 3000 円振込み

「ガツコウホウジン キョ」

(敬称略, 10月22日現在)

(長谷川守寿)

運営委員会メンバー

会長：松崎寛（筑波大学）

事務局：内藤真理子（電気通信大学），
畠山理恵（文化学園大学）

会計：伊藤夏実（東京農工大学），
島崎薫（東北大学），高橋亜紀子
（宮城教育大学），平田秀（武蔵
野大学）

編集（ニュースレター担当）：世良
時子（北里大学）

編集（会誌担当）：榎原実香（東京
工業大学），大津友美（東京外国
語大学），工藤嘉名子（東京外国
語大学），栗原通世（国士舘大学），
小森万里（大阪大学），佐々木良
造（静岡大学），鈴木綾乃（横浜
市立大学），生天目知美（東京海
洋大学），村上智子（山梨学院大
学）

編集（J-STAGE 担当）：寺嶋弘道（立
命館アジア太平洋大学）

情報管理：佐藤礼子（東京工業大学），
篠崎大司（別府大学／株式会社篠
研），橋本直幸（福岡女子大学），
長谷川守寿（東京都立大学）

企画・広報：河野俊之（横浜国立大
学），俵山雄司（名古屋大学），
中川健司（横浜国立大学），根津
誠（国際交流基金），平山允子（日
本学生支援機構）

日本語教育方法研究会

問い合わせ先：jlem-ml@jlem-sg.org

(レター編集：世良時子)